



2024 北海道からの食輸出の拡大 ～北海道経済産業局・Do★食輸出Platformの取組を紹介～

2024年7月30日
経済産業省 北海道経済産業局

【本資料のお問い合わせ先】

経済産業省 北海道経済産業局

地域経済部 食・観光産業課（担当：福島・南・八嶋・伊藤）

電話：011-709-2311（内線2593）

E-mail：bzl-hokkaido-shokukanko@meti.go.jp

◆概要

- 当局では、国の行政関係5機関※により、食輸出支援をワンストップで行う「Do★食輸出Platform」を2021年9月に発足。生産性の向上支援や、ビジネスマッチング、食品輸出人材の育成、各種施策を活用した課題解決等を通じて、道内食関連事業者の輸出拡大を支援。
- 2024年度も引き続き、人材の育成、販路の拡大、ネットワークを介したビジネス連携に加えて、新たな輸出モデルやプレイヤーの調査を通じて、海外需要の獲得や新たなビジネスを創出する。
- 本資料では、当局の取組及びDo★食輸出Platformの取組をご紹介します。

※北海道経済産業局（事務局）、北海道農政事務所、札幌国税局、JETRO北海道、中小企業基盤整備機構北海道本部の5機関で構成

【1】新たな輸出 モデル発掘



- ①輸出ビジネスを変革する新たなプレイヤーやビジネスモデルに関する調査
- ②「食輸出ビジネスプランコンテスト」の開催

【2】食輸出人材 育成・活用



- ①「食の輸出戦略検討・実行ワークショップ」の開催
- ②「海外営業スキル向上プログラム」の実施

【3】販路拡大



- ①海外新市場進出に向けた商品のブランディング支援
- ②「Do★食輸出マッチング」の実施
- ③輸出セミナーの開催・海外現地テストマーケティングの実施

【4】ネットワーク 連携



- ①「Do★食輸出Platformビジネス交流会」の開催
- ②「食輸出支援メニューブック」を活用したワンストップ支援の強化

【1】革新的な輸出ビジネスを行う事業者や新たな輸出モデルに関する調査

- 北海道からの食輸出拡大を実現するため、生産・流通・販売において、革新的な輸出ビジネスを行う道内外の事業者や、新たな輸出モデル、有望な輸出品目を調査する。
- 加えて、「食輸出ビジネスプランコンテスト」の開催を通じて、有望案件の掘り起こしを図り、新たな輸出プロジェクトの組成やネットワークづくり、さらには今後の輸出促進方策の検討を進める。

① 革新的な輸出ビジネスを行う事業者や新たな輸出モデルに関する調査

調査方法：一次生産者ネットワークや食関連団体、行政等からの情報を元に、調査候補先を20者選定し、ヒアリングを実施（2024年8月～12月）。

<調査対象とする取組例>

- ◆ 輸出を視野に生産の規模拡大を図る事業者
- ◆ 既存の流通構造から脱却し、新市場を開拓する事業者
- ◆ 大ロットでの輸出を行う中堅企業や生産者等
- ◆ 新たなアイデアや視点による輸出モデル（デジタルの活用、インバウンドの活用等）

- ✓ 有望な取組事例やビジネスモデルを整理し、先進事例を公表。
- ✓ 調査結果を元に輸出促進方策を検討し、次年度のアクションプランとして実行。

② 食輸出ビジネスプランコンテストの開催

開催時期：2024年11月（予定）

募集対象：新たな生産・製造方法や、流通改革、斬新なビジネスアイデアを基に輸出拡大を目指す道内外の生産者、加工事業者、卸等 ※7者程度を選定

スケジュール：

- ・9月～10月 ビジネスプランの募集・選定
- ・11月 コンテストの開催
- ・1月～2月 輸出支援サービスの実施



- ✓ コンテスト優秀者に対し、Do★食輸出Platformのサポーター企業が「輸出支援サービス」として、海外消費者によるモニター調査や専門家によるハンズオン支援等を提供し、輸出を支援。

【2】①「食の輸出戦略検討・実行ワークショップ」の開催

- 輸出を継続的にビジネスとして成長させるためには、経営層が輸出事業を自社の経営戦略に明確に位置づけ、輸出計画を具体化するとともに、計画を実行する人材の活用も含め深掘りすることが重要。
- そのため、輸出ビジネスの経験が豊富な専門家と参加企業の経営層が膝を交え、自社の輸出の進め方や戦略についてディスカッションを行う「ワークショップ」を開催する。

◆「食の輸出戦略検討・実行ワークショップ」の開催

開催場所：札幌市、旭川市、帯広市

※各開催地で計4回のワークショップを開催

日 程：8月下旬～12月 詳細：北海道経済産業局HP▶

参加対象：輸出に意欲的な企業の経営層

※開催地ごとに5社程度を公募・選定



【プログラム】

第1回：輸出戦略検討シートにより自社の強みや課題を整理・分析

第2回：ディスカッションを通じて輸出戦略をブラッシュアップ

第3回：人的資源や必要な人材像、人材の確保・育成方法を検討

第4回：戦略を実行するための輸出計画の基礎を作成

★個別相談会の開催

ワークショップ終了後、各社の輸出状況等を踏まえ、専門家から個別の解決策等を助言。

◀ 輸出専門家 ▶ ※ワークショップのファシリテーター・アドバイザー



(株)KM
International
代表取締役
中 正宏 氏

シンガポール・ベトナムなど、海外での経験・人脈を生かし食品輸出分野でJETRO や中小機構等で、専門家として輸出を支援。



Chaos ASIA
合同会社
代表社員
依田 知則 氏

海外マーケティング、現地サプライチェーンの構築、海外販路開拓を実践。中小機構のアドバイザー（国際化・販路開拓）も歴任。



(株)REA
代表取締役
鈴木 俊介 氏

大手商社の食料カンパニーで農産物の輸出入取引等を担当。2021年から、北海道よろず支援拠点のコーディネーター。



BEST
CONCEPT
FIELD
代表
石田 栄 氏

道内大手製麺会社で、世界各国で自社商品の営業、ラーメン店開業支援、輸出業務に取組。2024年から輸出コンサルティングを開始。

【2】②「海外営業スキル向上プログラム」の実施

- 海外バイヤーへの売り込みや輸出に係る実務など、輸出計画を実行する社内体制が不十分なため輸出計画が進展しないケースがみられる。
- そのため、社内人材を育成するための「海外営業力向上セミナー」＜座学＞を開催するとともに、「海外バイヤーとの商談」＜実践＞を取り入れたプログラムを通じて、海外営業スキルの向上を図る。

（1）「海外営業力向上セミナー」の開催＜座学＞

開催時期：2024年9月～11月の間に5回実施
 開催場所：1回目札幌市、2回目以降オンライン
 参加対象：輸出実務や営業を担う人材（20社程度）
 講師：COUXU(株)

☞2,000社の海外企業を開拓。海外展開支援サービスや世界各国のバイヤーの調達支援業務を通じ、日本企業300社の販路拡大に貢献。



◀詳細：北海道経済産業局HP

| | 講義内容 |
|-----|---------------------------|
| 1回目 | ターゲットの設定方法、価値提供方法 |
| 2回目 | ターゲットに応じた営業方法、営業フローを作成 |
| 3回目 | 営業フローの実現に向けた資料を作成 |
| 4回目 | 海外企業と商談する際のポイント、商談の円滑な進め方 |
| 5回目 | 成約に向けた商談相手のフォローアップ方法 |

（2）海外バイヤーとのオンライン商談＜実践＞

開催時期：2024年10月～2025年1月
 ※バイヤーの都合に応じたタイミングで実施。
 参加対象：左記セミナー参加企業
 ☞商談の進捗はCOUXU(株)がフォローし、アドバイスを実施。



◆COUXU社のオンライン商談イメージ※同社WEBサイトから抜粋



世界29ヶ国のアタックリスト

セカイコネクに調達依頼を出している2,000社超の海外企業は、COUXUが直接アライアンスを組んでいる実績のある企業のみであり、常に膨大な案件のリストを確認できます。

専属スタッフのバックアップ

提案書/メールの翻訳や商談時の通訳から、成約・決済時まで、国際商流に精通したCOUXUの専属スタッフがバックアップし、スムーズな取引を可能にします。

【3】①海外新市場進出に向けた商品のブランディング支援

- 新市場への進出にあたっては、輸出先国の消費動向を分析した上で、商品の価値やコンセプトを視覚的に消費者に伝えることや、商品を効果的にPRするための戦略を立てることが重要。
- 本事業では、食輸出の有望市場に位置づけられている※マレーシアをターゲットに、道産食品の「キービジュアル」を策定し、消費者に訴求するパッケージデザインやPR等への活用を検討・支援する。

※出所：首相官邸「国・地域別の農林水産物・食品の輸出拡大戦略」（下図）

キービジュアルとは

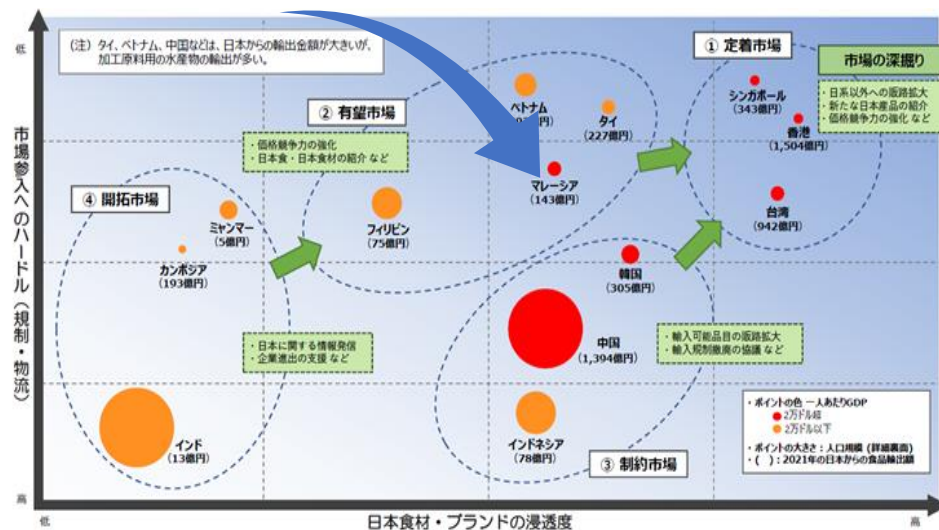
商品の価値やコンセプトを視覚的に訴えるためのデザインや画像。伝えたいことが一目で伝わるように、ロゴやシンボルマーク、イメージフォト、キャッチコピーなどを組み合わせて作成。

＜キービジュアルの例＞



なぜマレーシアなのか

日本食材が浸透しており、今後の伸びが期待される有望市場



事業の流れ



マレーシア進出に意欲的な道内食品メーカー 2 社程度を公募

現地小売店の商品状況の調査や消費者へのインタビューを通じて、市場動向を把握

商品のブランディングやPR戦略に精通した専門家の助言を得ながら、ワークショップ形式で検討・策定

一連のプロセスから得られたノウハウを報告し、知財保護の重要性等を紹介

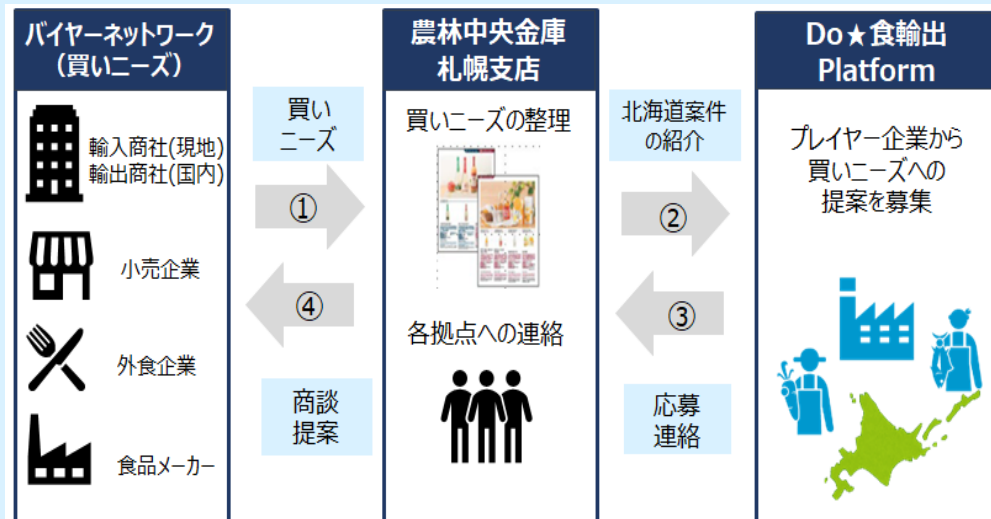
【3】②「Do★食輸出マッチング」の実施

- 道内の輸出事業者は、輸出における最も大きな課題として、「商談・販売（パートナーの確保・海外ニーズの把握等）」を挙げており※、海外バイヤー等との商談機会を望む声が多い。
- Do★食輸出Platformでは、マッチング企画の第1弾として、農林中央金庫の海外バイヤーネットワークを活用した個別マッチングを実施するとともに、シンガポールの日系スーパー IROHA MARTの道産商品へのニーズを募集する。

※2024年3月19日開催の「DO★食輸出プラットフォーム ネットワーキング」参加者へのアンケートにおいて、7割が「商談・販売」を課題として回答（回答者数32名）。

（1）農林中央金庫による個別輸出マッチング

- 同金庫の国内外拠点のネットワークを活用し、現地企業に商品を紹介する「個別輸出マッチング」を実施。
- 札幌支店は道内企業が対象となるマッチング案件をプラットフォーム内に共有し、成約に向けた支援を行う。



（2）海外スーパーマーケットとのマッチング

- IROHA MART（いろはマート）は、シンガポールで日本の食品などを直輸入し販売するスーパーマーケット。
- 特色ある各地域産品のシンガポール国内での販売に注力しており、今回、道産食品を募集する。
- 輸出に際しては、サポーター企業であるモデルケースが仲介し、いろはマートがワンストップで貿易実務を行う。



IROHA MART店舗写真

【3】③輸出セミナーの開催・海外現地テストマーケティングの実施

- Do★食輸出Platformでは、北海道農政事務所のGFP北海道の取組を通して、オール北海道での輸出拡大を目指し、道内4地域において、輸出ノウハウや海外マーケット情報等を提供する「輸出セミナー」を開催。
- また、海外現地において直接、自社商品の評価を得るため、台湾・シンガポールにおいてテストマーケティングを実施。

(1) 「輸出セミナー」の開催

日程：【小樽市】8月 6日(火) 【函館市】 9月5日(木)
 【名寄市】9月19日(木) 【札幌市】10月4日(金)



◀ 詳細：北海道農政事務所HP

【プログラム】

第一部：セミナー（10:00～12:15 ※札幌は13:00～16:00）

- ①台湾セミナー／②シンガポールセミナー
- ✓ 市場の動向、日本製品の販売状況
 - ✓ 輸入規制と書類作成のポイント



第二部：ワークショップ（13:15～18:00）※札幌を除く3地域で開催

- ✓ ブランディング講座、ブランドストーリーづくり
- ✓ PR資料づくり
- ✓ 交流会



(2) 海外現地テストマーケティングの実施

日程：2025年1月中旬（台湾1日、シンガポール2日）
 会場：台湾（台北）及びシンガポール国内の商業施設
 対象：道内の生産者・食品製造企業等

※輸出セミナーの参加者が対象

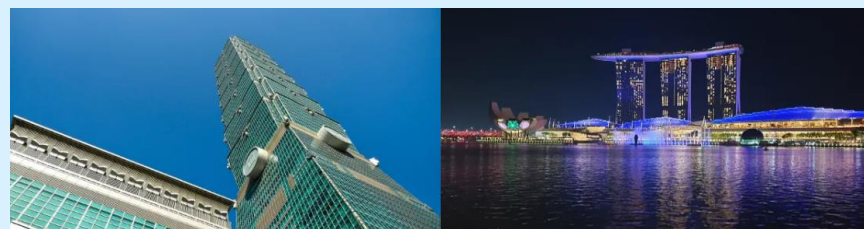
実施方法：

【AM】一般消費者を招待しての試飲・試食・アンケート会

【PM】バイヤーを招聘しての試食・商談会



◀ 詳細：参加条件や留意事項等はこちら



【4】①「Do★食輸出Platformビジネス交流会」の開催

②「食輸出支援メニューブック」の活用によるワンストップ支援の強化

- Do★食輸出Platformでは、プレイヤー企業・サポーター企業・構成機関が一堂に集まる交流会を開催し、輸出や支援事例の情報交換等を通じて、輸出拡大に向けた新たな取組やビジネスの創出を促進。
- Do★食輸出Platform構成機関の多様な支援メニューを食輸出企業に分かりやすく届けるため、新たに「食輸出支援メニューブック」を作成し、効率的な施策発信によりワンストップ支援機能を強化。

①「Do★食輸出Platformビジネス交流会」の開催

日程：2024年11月、2025年2月（予定）
会場：札幌市内

【開催概要】

- ・プレイヤーによる輸出事例発表
- ・サポーター企業による支援事例発表
- ・プレイヤーによるピッチ（取組紹介）
- ・構成機関からの情報提供 等



2023年度3月の開催の様子

②「食輸出支援メニューブック」の活用によるワンストップ支援の強化

- ✓ 課題別に施策を整理しており、最適な支援メニューを効率的に検索可能。

道内の食輸出事業者・支援機関の皆様へ

食輸出支援メニューブック

～北海道の食輸出を応援します～

食輸出に取り組む事業者の皆様へ、最適な施策をお届けするための簡単な施策集です。

事業者の皆様はもちろん、支援機関やサポーター企業の皆様もご活用ください。

2024年7月30日
DO★食輸出Platform



【お願い】
本資料は各施策の概要のみを記載しています。募集期間等の最新情報・制度の詳細は各施策のホームページをご確認ください。

販路開拓をしたい

① ジェトロ招待バイヤー専用カタログサイト『Japan Street』

どのように使う？

- ・日本いながら手軽に、低コストで海外へのチャレンジを始めたい。
- ・商品の動画や画像を通して、商品の魅力を伝えたい。

制度概要

- ・商品をJAPAN STREETサイトに掲載し、ジェトロが招待した世界中のバイヤーに紹介。
- ・バイヤーから引き合いがあった場合には、ジェトロが仲介し、オンライン商談をサポート。
- ・登録・商談・通訳手配まで無料。バイヤーとの連絡や商談日程調整はジェトロが行う。

お問い合わせ・詳細

下記JETROホームページにて、問い合わせフォーム・詳細を確認ください
https://www.jetro.go.jp/services/japan_street/

詳しくはこちら



② ビジネスマッチングサイト『J-GoodTech（ジェグテック）』

どのように使う？

- ・国内外を問わず、新たな取引先や事業連携のパートナーを探したい。

制度概要

- ・海外企業約8000社、国内大企業約1000社が登録。年間マッチング件数は約10000件。
- ・幅広い業種のニーズ・課題に対して、自社の商品・サービスを提供可能。
- ・ご利用は無料。会員にはアドバイザーがマッチングへの提案方法等のサポートを行う。

詳細

ジェグテックとは（J-GoodTechホームページ）
<https://jgoodtech.smri.go.jp/pub/ja/about/>

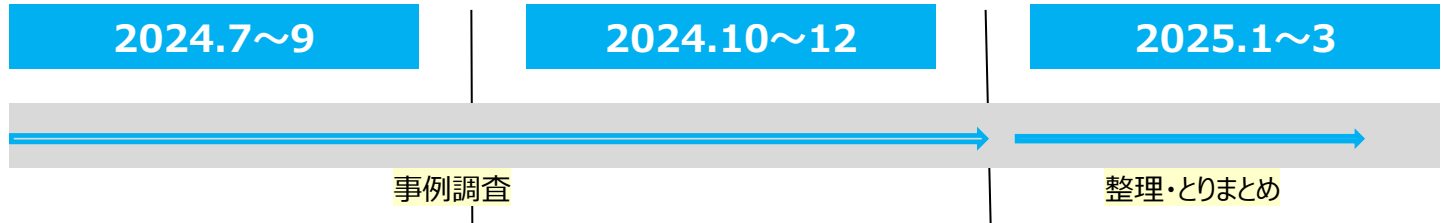
詳しくはこちら



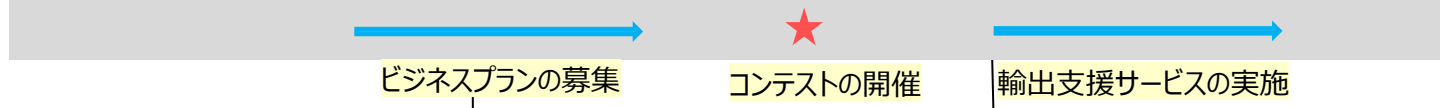
◆実施スケジュール

【1】新たな輸出モデル発掘

①革新的な輸出ビジネスを行う事業者や新たな輸出モデルに関する調査



②「食輸出ビジネスプランコンテスト」の開催

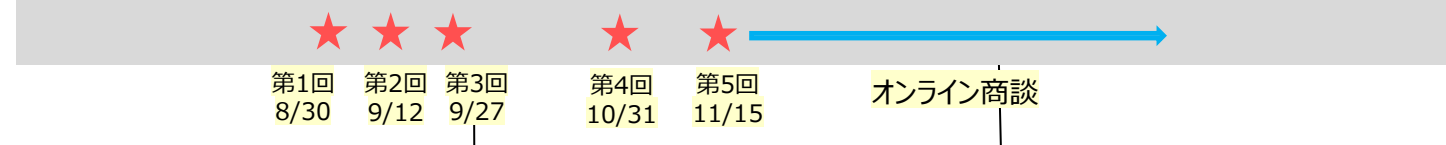


【2】食輸出人材育成・活用

①「食の輸出戦略検討・実行ワークショップ」の開催

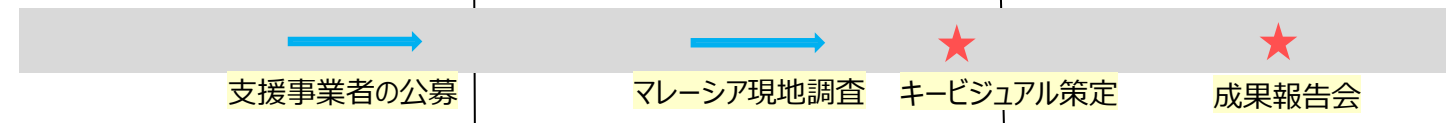


②「海外営業スキル向上プログラム」の実施

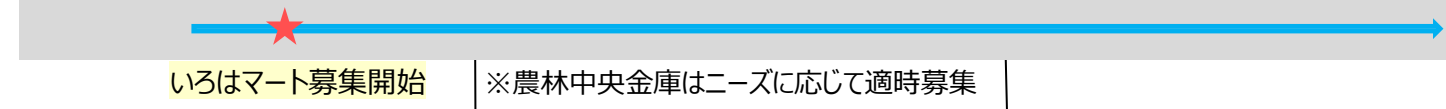


【3】販路開拓

①海外新市場進出に向けた商品のブランディング支援



②「DO★食輸出ビジネスマッチング」の開催

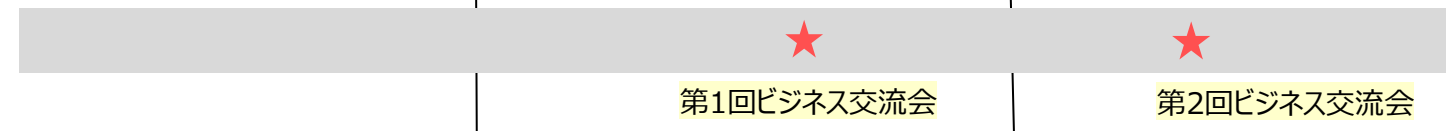


③輸出セミナーの開催・海外現地テストマーケティングの実施



【4】ネットワーク連携

①「Do★食輸出Platformビジネス交流会」の開催



②「食輸出支援メニューブック」の活用によるワンストップ支援の強化



【参考 1】①Do★食輸出Platform <体制図>

- 政府の農林水産物・食品の輸出額目標（2025年：2兆円、2030年：5兆円）の達成に向け、北海道の食輸出を拡大するために、2021年9月、国の行政関係5機関を中心に「Do★食輸出Platform」を発足。
- 輸出支援のサービスを提供する民間のサポーター企業や道内の自治体等と連携し、輸出に意欲的なプレイヤー企業を支援。
※プレイヤー企業はP12に掲載。



【サポーター企業】（2024年7月末時点19社）

エア・ウォーター・ラボアンドフーズ(株)/(株)エイチ・アイ・エス/(株)ABC Cooking Studio/SS GLOBAL(株)/(株)gr.a.m(クロス・マーケティンググループ) / (株)KM INTERNATIONAL COUXU(株)/ J A 三井リース(株)札幌支店/(株)拓真プランニング/トヨタ自動車北海道(株)/(株)日本政策金融公庫/日本貿易保険 (NEXI) /農林中央金庫札幌支店 ハコレコドットコム(株)/(株)フォーバル/北海道エアポート(株)/三井住友海上火災保険(株)/(株)モデルケース/(株)Wakka Japan

【参考1】②Do★食輸出プレイヤー一覧（2024年7月30日時点・40者）

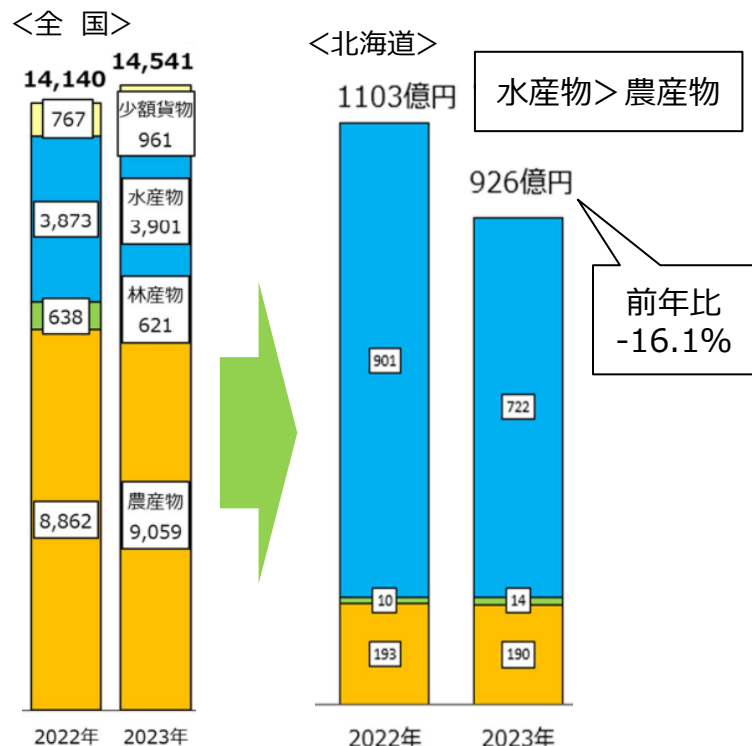
| プレイヤー名 | 所在地 | 主な輸出品目/今後輸出を希望する品目 |
|-----------------|------|---|
| アイビック食品株式会社 | 札幌市 | 昆布だし |
| 農産物生産組合あっさぶ農匠 | 厚沢部町 | かぼちゃ/かぼちゃペースト |
| 有限会社アド・ワン | 札幌市 | 野菜パウダー |
| 池田町ブドウ・ブドウ酒研究所 | 池田町 | 果実酒、ブランデー、リキュール |
| 一鱗共同水産株式会社 | 札幌市 | いくら、カニ、ホタテ/水産物全般 |
| 株式会社H.Eファーム | 札幌市 | かぼちゃ |
| 株式会社A-Netファーム十勝 | 清水町 | 小豆、黒豆、小豆茶/発酵小豆、餡子 |
| 株式会社小樽海洋水産 | 小樽市 | 甘エビの魚醤、レンジ対応個食鍋/冷凍寿司ケーキ |
| 男山株式会社 | 旭川市 | 清酒/リキュール、清涼飲料水 |
| 北ーミート株式会社 | 札幌市 | 食肉加工品、食肉 |
| 株式会社北国からの贈り物 | 弟子屈町 | 蟹、ホタテ、いくら、日本酒、菓子 他 /レトルトコーンスープ、栄養ドリンク 他 |
| 国稀酒造株式会社 | 増毛町 | 日本酒・酒粕焼酎・リキュール・スパークリング酒 |
| 株式会社グリーンズ北見 | 北見市 | 乾燥スープ |
| 小林酒造株式会社 | 栗山町 | 日本酒・酒粕焼酎・リキュール・スパークリング酒 |
| サンマルコ食品株式会社 | 札幌市 | 冷凍コロケ/いももち |
| 高砂酒造株式会社 | 旭川市 | 清酒、リキュール |
| 中央水産株式会社 | 稚内市 | 冷凍魚/惣菜、魚貝類加工品 |
| 有限会社ツクナカ | 小樽市 | 味付帆立貝 他/味付帆立貝 他 |
| 株式会社壺屋総本店 | 旭川市 | 菓子（和菓子）北海道小豆を使用。アメリカヘローカライズを図ったあんど商品 |
| 有限会社十勝しんむら牧場 | 上士幌町 | 牛乳、ミルクジャム |

| プレイヤー名 | 所在地 | 主な輸出品目/今後輸出を希望する品目 |
|-------------------|-------|--|
| 株式会社十勝大福本舗 | 幕別町 | 加工食品（冷凍和菓子） |
| 有限会社十勝太陽ファーム | 本別町 | 電子レンジ専用北海道十勝ポップコーン |
| 西山製麺株式会社 | 札幌市 | 生ラーメンなどの麺類 |
| 株式会社ニトリパブリック | 札幌市 | 日本酒、リキュール、ワイン、ウイスキー、ビール、スパークリング酒、加工食品/食品全般 |
| 日本食品製造合資会社 | 札幌市 | なし/シリアル |
| 株式会社はこだてわいん | 七飯町 | 酒類（果実酒・甘味果実酒） |
| ふたみ青果株式会社 | 釧路市 | フリーズドライ牛乳、レトルトコーン/じゃがバター |
| 株式会社プライム・ストリーム北海道 | 音更町 | 食品全般 |
| 有限会社プロセスグループ夢民舎 | 安平町 | カマンベールチーズ 他 |
| 北海道クラフトビネガー株式会社 | 新ひだか町 | フルーツビネガー、日高昆布そば |
| 一般財団法人北海道食品開発流通地興 | 函館市 | 畜産物、畜産加工品、乳加工品、冷凍・常温菓子、カボチャペースト/乳加工品（チーズ） |
| 北海道総合商事株式会社 | 札幌市 | 冷凍加工品（水産・スイーツ）、青果 /商品開発を伴う冷凍加工品 |
| 株式会社北海道米菓フーズ | 旭川市 | 米菓（おかき・煎餅）/米粉・野菜パウダー |
| 北海道ワイン株式会社 | 小樽市 | 日本ワイン/GI北海道認定の日本ワイン |
| 株式会社北海永徳 | 標津町 | 鮭、貝付き冷凍ホタテ 他/ホタテ玉冷凍、イクラ類 |
| 有限会社ほんだ菓子司 | 砂川市 | なし/アップルパイ、ギリシャヨーグルト |
| 株式会社松原米穀 | 札幌市 | 北海道産米 |
| 株式会社円甘味 | 小樽市 | カスタードキューブ、バウムクーヘン /全ての自社商品 |
| マルカイチ水産株式会社 | 紋別市 | 冷凍ホタテ貝柱、冷凍ズワイガニ他/ホタテ加工品 |
| 株式会社マルコシ・シーガル | 根室市 | 主に北海道食品 |

【参考2】農林水産物・食品の輸出概況

- 我が国の農林水産物・食品の輸出額は、2023年は年間で1兆4,541億円。北海道における輸出額は926億円※となり我が国の約6%を占め、北海道の輸出額全体の約1/4を占める。 ※ 道内港のみ
- 世界的に需要の高いホタテ貝を含む水産物が約7割を占める。今後は、北海道が産出額上位を占める生乳・米・肉用牛や菓子等の加工食品等、政府が定めた輸出重点品目全体の底上げが重要。

◆ 全国と北海道の農林水産物・食品 輸出額



※財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成
※単位は億円

※財務省「貿易統計」を基に北海道農政事務所作成
※項目は上から水産物、林産物、水産物

◆ 2023年の北海道における農林水産物・食品 輸出額 品目別

| 品目 | 金額 (百万円) | 前年比 (%) |
|-----------------|--------------|--------------|
| 加工食品 | 7,006 | +18.1 |
| ビール | 174 | +242.0 |
| 清酒 | 60 | ▲27.6 |
| その他アルコール飲料 | 412 | +54.0 |
| 調味料 | 313 | +37.3 |
| ソース混合調味料 | 148 | +31.3 |
| その他 (でん粉・清涼飲料等) | 2,987 | +76.9 |
| 調製食品 | 905 | +44.6 |
| チョコレート菓子 | 1,597 | ▲5.9 |
| 菓子 (米菓を除く) | 429 | +0.3 |
| その他の砂糖菓子 | 1 | ▲28.2 |
| ベーカリー製品類 | 975 | ▲28.9 |
| 畜産品 | 5,522 | ▲10.3 |
| 牛肉 | 392 | +15.5 |
| 豚肉 | 747 | +34.7 |
| 鶏肉 | 37 | +144.2 |
| 鳥卵・卵黄 | 51 | ▲33.0 |
| 酪農品 | 1,377 | ▲35.2 |
| 牛乳・部分脱脂乳 | 831 | ▲9.3 |
| 粉乳等 | 497 | ▲57.2 |
| 動物性油脂 | 749 | ▲24.3 |
| 原皮 | 612 | ▲11.8 |
| 穀物等 | 2,031 | +23.5 |
| 穀物 | 1,033 | +14.7 |
| 米 | 1,032 | +14.6 |
| 穀粉調製品 | 936 | +35.5 |
| 麦芽エキス、穀粉等 | 474 | +79.6 |
| 即席麺 | 36 | +37.6 |
| シリアル食品 | 2 | ▲84.1 |
| 野菜・果実等 | 3,539 | ▲25.5 |

| 品目 | 金額 (百万円) | 前年比 (%) |
|--------------------|---------------|--------------|
| 果実・その調製品 | 460 | ▲10.6 |
| 野菜・その調製品 | 3,076 | ▲27.3 |
| 野菜 (生鮮・冷蔵・乾燥) | 2,096 | ▲21.8 |
| たまねぎ及びシャロット | 305 | ▲77.1 |
| ながいも等 | 1,705 | +37.0 |
| その他の野菜調製品 | 980 | ▲36.9 |
| ばれいしょ | 852 | ▲39.8 |
| その他農産物 | 865 | +11.1 |
| 配合調製飼料 | 563 | +3.6 |
| 林産物 | 1,425 | +42.3 |
| 素材 (丸太) | 999 | +59.0 |
| 製材 | 416 | +29.6 |
| 水産物 (調製品除く) | 63,353 | ▲20.0 |
| ホタテ貝 | 42,600 | ▲28.6 |
| さけ・ます | 5,885 | ▲4.0 |
| たら | 1,069 | +68.3 |
| すけそうだら | 472 | ▲22.7 |
| いわし | 237 | ▲44.9 |
| さんま | 112 | +50.8 |
| ひらめ・かれい | 257 | ▲51.5 |
| かに | 1,032 | ▲0.2 |
| いか | 31 | +39.8 |
| たこ | 134 | ▲56.5 |
| なまこ | 5 | ▲17.0 |
| 魚油 (肝油除く) | 7,992 | +42.6 |
| 水産調製品 | 8,851 | ▲18.5 |
| 貝柱 (調製) | 189 | ▲68.2 |
| 乾燥なまこ (調製) | 2,808 | ▲12.0 |
| その他の調製なまこ | 3,954 | ▲16.3 |
| キャビア及びその代用品 | 386 | ▲57.5 |

※財務省「貿易統計」を基に北海道農政事務所作成